

ハルカス大学連携 スペシャル・トーク 「超絶技巧、最年長VS最年少！」

本展監修者の山下裕二氏とともに、出品作家のなかで最年長の前原冬樹氏(1962年生まれ)と最年少の福田亨氏(1994年生まれ)が、超絶技巧のいま、そして未来について熱いトークを繰り広げます。

7月1日(土) 14:00~15:30 (15:30開場)

【出演】山下裕二氏(本展監修者、明治学院大学教授)
前原冬樹氏(本展出品作家、木彫)
福田 亨氏(本展出品作家、木彫)

【会場】あべのハルカス23階セミナールーム
(17階からエレベーターにお乗りください)

【定員】70名(事前申込制、先着順)
※聴講は無料ですが本展観覧券(半券可)が必要となります。

お申し込みは4月22日(土)10:00より
ハルカス大学webサイト、お電話、もしくはハルカス大学受付(あべのハルカス23階キャンパスフロア)にて承ります。
定員になり次第締め切ります。

※オンライン配信(無料、事前申込制、先着順)も実施します。詳細はハルカス大学webサイトにてご確認ください。



山下裕二氏



前原冬樹氏



福田 亨氏

【ハルカス大学】
webサイト: <http://harudai.jp/>
電話: 06-6622-4815

ギャラリートーク & デモンストレーション 「大竹亮峯、花を咲かせる! 本郷真也、龍を動かす！」

作家の大竹亮峯氏(1989年生まれ)と本郷真也氏(1984年生まれ)のふたりが、それぞれの制作の秘密を明かすとともに、作品の驚きの仕掛けを実演!

8月5日(土) ① 18:00~19:00
② 19:30~20:30

※チケットはイベント参加券と観覧券の2枚組。
観覧券はイベント当日に限らず会期中であればいつでもご利用可能です。

【出演】大竹亮峯氏(本展出品作家、木彫)
本郷真也氏(本展出品作家、金工)

【会場】あべのハルカス美術館展示室

【定員】各回30名

【参加料】3,000円(税込・観覧料込)

チケットは4月22日(土)より下記にて販売します。定員に達し次第終了。
【チケット販売所】セブンチケット(セブンコード:099-429)



大竹亮峯氏



本郷真也氏



【金工】
吉田泰一郎(1989年生まれ)
《粗》2021年 銅、銀メッキ、七宝

フォトイベント「撮らNIGHT! 映えNIGHT!」

7月のフライデー・ナイトは美術館で撮影さんま!

通常は限られたエリアでのみ可能な作品撮影を、エリア制限なく自由に楽しむことができるイベントです。

7月7日(金)、14日(金)、21日(金)、28日(金) 各日18:00~20:00(入館は19:30まで)

※本展観覧券が必要となります。 ※18:00までは一部のエリアのみ撮影可能となります。
※ストロボ、三脚や自撮り棒などのご使用はご遠慮ください。 ※動画の撮影はご遠慮ください。

超絶おトク! チケット(日付指定券) 1枚 1,000円(税込)

7月1日(土)~7月31日(月)の期間限定の日付指定
スペシャルチケット。4月1日(土)よりあべのハルカス
美術館ホームページ(オンラインチケット)にて発売、
先着1,000枚限定(おひとりにつき2枚まで購入可)。

こちらもおトク! 前売ペアチケット 一般2枚組 2,600円(税込)

販売期間:4月22日(土)~6月30日(金)
※おひとり2回に分けてのご使用も可能です。
※ペアチケットはローソンチケット、チケットぴあ、イープラス、
セブンチケット、CNプレイガイドでの販売となります。

おやお割引

明治から現代へと受け継がれた
超絶技巧にちなみ、親子、祖父母とお孫さんなどの複数世代で
ご来館された方はそれぞれ当日
料金から100円引きとなります。
(他割引との併用不可)

観覧料(税込)	当日	前売・団体
一般	1,600円	1,400円
大高生	1,200円	1,000円
中小生	500円	300円

※前売券は4月22日(土)~6月30日(金)まで販売。 ※団体は15名様以上。 ※障がい者手帳をお持ちの方は、美術館チケットカウンターでご購入されたご本人と付き添いの方1名様まで当日料金の半額。

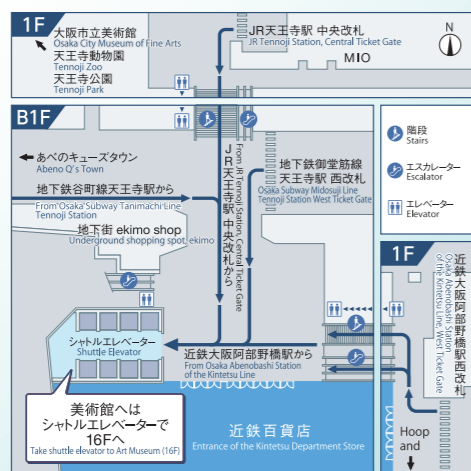
【チケット販売所】あべのハルカス美術館ミュージアムショップ(美術館開館日のみ)、あべのハルカス美術館ホームページ(オンラインチケット)、近鉄駅営業所、ローソンチケット(Lコード:56520)、チケットぴあ(Pコード:686-427)、セブンチケット(セブンコード:099-429)、イープラス、CNプレイガイド、楽天チケットなど。

福島アナの
コメント動画はこちら



MBS 福島アナが PR大使に就任!!

AIやロボットが、精巧な作品を作り始めていますが、私達の心を打つのは“人の手”から生まれたものです。研鑽を経たアーティストの手による宝物が、皆さんの出合いを待っています!



【木彫】
岩崎 努(1972年生まれ)
《さくらんぼ》
2021年
楓、水干絵具、胡粉、膠、漆

【交通のご案内】
近鉄「大阪阿部野橋駅」、
JR・地下鉄「天王寺駅」、
阪堺上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ。
※駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。
あべのハルカス美術館へはシャトルエレベーター
【乗り口:地下1階または2階】をご利用ください。

あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

〒545-6016 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
あべのハルカス16階
【お問い合わせ】06-4399-9050



驚異的。
かむほど、
かめば

じっは
木彫!

In the Genes,
Taking Marvelous Meiji
Craftsmanship
into the Future

2023
7/1 Sat → 9/3 Sun

【開館時間】火~金 / 10:00~20:00、
月土日祝 / 10:00~18:00 ※入館は閉館30分前まで
【休館日】7月3日(月)
【主催】あべのハルカス美術館、毎日新聞社、MBSテレビ
【協賛】大和ハウス工業 【協力】清水三年坂美術館
【監修】山下裕二(明治学院大学教授) 【企画協力】広瀬麻美(浅野研究所)

あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

前原冬樹 《「一刻」スルメに茶碗》(部分) 2022年 木、油彩、墨

超絶技巧、未来へ!
明治工芸とそのDNA

2019年、当館で開催した「驚異の超絶技巧! 明治工芸から現代アートへ」展では、子どもから大人まで多くの方々に、人の手が生み出す驚異の手わざをお楽しみいただきました。本展はその発展形として、明治工芸のDNAを受け継ぎつつ新たな領域に挑む現代作家の新作を中心にをご紹介します。木、金属、陶磁、漆、ガラス、紙など、さまざまな素材によって展開される意欲的な作品の数々は、日々進化し続ける超絶技巧の未来を指し示しています。そのルーツとなる明治工芸の逸品とともに、驚きと感動にあふれた超絶技巧の魅力を、今回もぜひご体感ください。

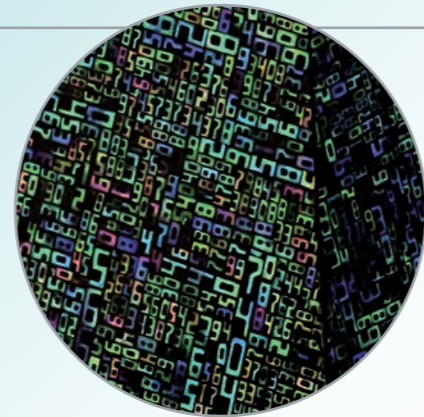
【木彫】

大竹亮峯 (1989年生まれ)

《月光》

2020年
鹿角、神代櫻、楓、樫、
チタン合金

真夜中に咲くミステリアスな花、
月下美人。
木と鹿角でできたこの花にも、
実は秘密が…!?



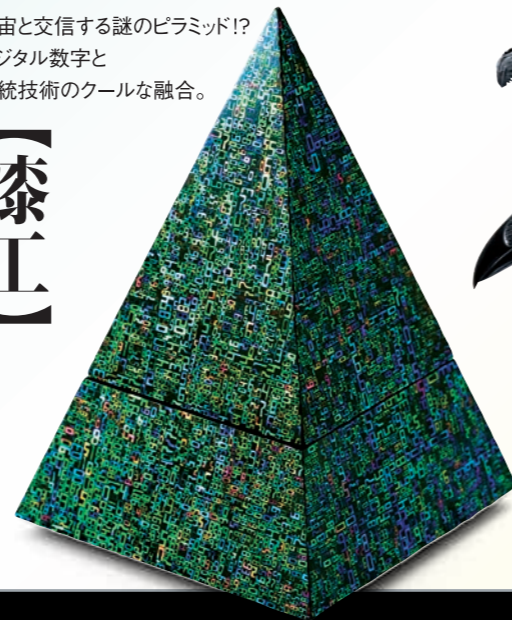
池田晃将 (1987年生まれ)

《百千金字塔香合》

2022年 漆、木曾檜、鮑貝、金

宇宙と交信する謎のピラミッド!?
デジタル数字と
伝統技術のクールな融合。

【漆工】



【金工】

ここからチェック!



本郷真也 (1984年生まれ)

《Visible01 境界》(部分)

2021年 鉄、赤銅、銀

リアルなのは、外見だけじゃない。
その体内には…!?

【陶磁】

稲崎栄利子
(1972年生まれ)

《Amrita》

2023年 陶土、磁土

やきもので、編みもの!?
自在に変化するかたちは、
まるで布のよう。



In the Genes, Taking Marvelous Meiji Craftsmanship into the Future

【牙彫】

安藤緑山
(1885-1959)

《松竹梅》

清水三年坂美術館蔵

読んで字のごとく、象牙の彫刻。
彫りも彩色も極めた名工の、奇跡の逸品。



【漆工】

白山松哉 (1853-1923)

《四君子蒔絵文台・
料紙箱・硯箱》

清水三年坂美術館蔵

漆で文様を描き、金や銀の金属粉を蒔き
つける蒔絵技法による傑作。菊、竹など
の植物の気高さを君子にたとえる。



【金工】

信久 (1849-1926)

《鷹香炉》(部分)

清水三年坂美術館蔵

権威を象徴する鷹を香炉に。
色の異なる金属をはめ込んだ
羽根のディテールに注目!



【七宝】

並河靖之 (1845-1927)

《草花図花瓶》

清水三年坂美術館蔵

艶やかな黒を背景に、紅葉と季節の
花々を濃密にちりばめて。精緻な装飾
に秀でた並河七宝の大作。

